

屋根裏部屋を作ってみた

～天低くとも座して運転できれば～

なんこう

一戸建てに引っ越した時、夢のレイアウトはすっかり諦め、趣味部屋の充実ばかりを考えていた。しかし、数年経ち、狭いグルニエ（屋根裏収納）に小さく身を屈めながら「ここに線路を引けたなら……」などと夢想をするうち、ふと思いついたのだ。この横壁をぶち抜けば天井が低くとも立派なエンドレスが引けると！

我が家にはグルニエ（屋根裏収納）がある。住宅価格の長引く低迷から、家の平均的な間取りは広くなりつつあるが、それでも収納に困る家庭は多いのだろう。2階建住宅の場合、ここ十年ほどの標準的な建売住宅には結構、このグルニエが付いているし、注文住宅ならまず勧められるはずだ。私の家にも、全くノーマルなソレが付いている。



グルニエへ続く標準的な折り畳みのハシゴ

本来ここは衣替えの衣類や使用頻度の低いものを収める場所だし、なにより置いたらすぐ退散するところだ。間取りも幅2.2m×奥行2.4mしかない。天井なんか座しても頭をぶつけそうなほどである。しかし、ある日その横には全く使用されていない天井空間が広がっていることに気付いたのだ。



この壁をぶち抜けばもしや……

2011年1月19日

業者に屋根裏が増床できるか見て貰う。スピーディかつ格安で施工してくれるそうだ。「天井を見せて貰います」というので、どこから入るのだろう？と思っていたら、まず寝室の押入をガラリと開けた。すかさず天袋の天板をゴンと押し、横へスライドさせる。ええ

っ？こうなってんの？ 呆気にとられていると担当者はスルスルと天井の中に入っていった。



ここから屋根裏に入るのか……

しばらくして彼が戻ってきた。「ご主人も見ます？」そりゃ、見ますとも。カメラを持って中に入る。



天井裏には断熱材が敷き詰めてあったが、屋根板には断熱材なし。夏熱いわけだ

ううむ、思ったより粗い作りの我が家。もし、屋根裏部屋が出来るなら屋根も断熱せねばなるまい。いや、それよりも施工できるかどうか問題だ。聞いてみると「古い家で、木が腐っている場合や梁が貧弱な場合は無理ですが、多くの家は大丈夫なんですよ」とのこと。我が家もOKだそうだ。費用は思っていた以上に安い。現在かなり高価となった16番プラスの編成モノを我慢すれば、なんとかなる感じだ。早速、工事して貰うことに。

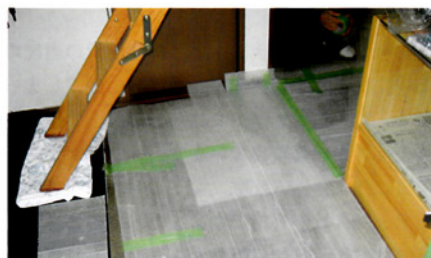
2月21日

施工当日は3人の職人がやってきた。この人数で1日で終わらすという。さすが屋根裏専門業者である。

作業の邪魔にならないよう、了解を得てから撮影に入った。以下、作業の様子である。

まず本格的な作業の前に養生である。床や

階段に緩衝材やマットを敷き、養生テープで固定する。



すでにあるグルニエから作業するため、入口は念入りに……



石膏ボードの粉が舞わないように透明シートで仕切る

養生が済んだら、既存のグルニエの横壁に穴を開ける。まず、小型のチップソーカッタで横穴を開け、そこに手を入れて、内側からバリバリ石膏ボードを壊してゆく。テレビ朝日の某番組で見慣れていたので、てっきり大きな木槌でポカーンとやるのかと思った。



チップソーカッタで四角く穴を開け……



そこから手でバリバリと穴を開けていった



床材もサクサクとカットし、テキパキ配置してゆく。淀みない作業に見とれてしまった



エアコンは届いたが工事は震災の影響でしばらくお預け……



眼前に現れた手つかずの屋根裏部分。グルニエより天井が高い、座れば頭は打ちそうにない



既存のグルニエとの接続部は化粧板で飾り付ける。床はほぼ敷き終わった



作業をしやすくするため、まず棟木に蛍光灯を取り付ける



電気の配線工事も終え完了。朝8時から始めて午後5時にこの状態となった

職人が小屋梁に座り、床材を支える根太（ねだ）を並べてゆく。今は小屋梁から落ちたら床が抜ける状態だ。



よく見ると小屋梁のほかにも梁をいくつも追加している。力を分散させ床を沈ませないためだ



嬉しくなってOゲージのレールを敷いてみた。将来、1100Rのエンドレスを中心としたレイアウトを作るぞ！



本当に凄いスピードで根太が均等に配されてゆく。こうでなくては1日で終わらないのだろう

根太を打ち付けたら、次はフローリングの表材を敷き詰める。この業者は格安なため床材は選べないが、見た感じそれほど悪いものには見えな。

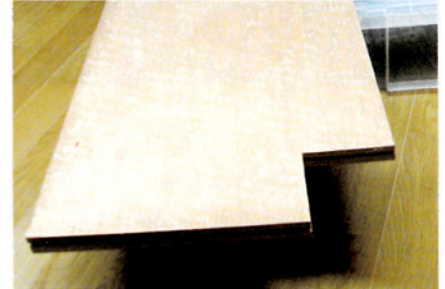
3月15日

このままでは夏熱いだろうということで、エアコンを注文していたのだが、到着までしばらく掛かり、震災から4日後にやっと届いた。世の中はガソリンどころか、米や水までないと騒いでいる異常事態。米を買おうと思っていた矢先に震災が起き、家には米が一粒もない。どうしよう……と思っていたところへ、宅配業者が玄関に本体と室外機を置いていった。

いまはそんなテンションじゃないのだが、としばらく室外機を眺めていると、嫁に出入りの邪魔だからさっさと設置しろと言われる。

3月19日

エアコンを設置する板を母屋（屋根を支える板）に付けるため、安かった9mmのラワンベニヤを2枚重ねにして強度を出すことに。当時は安いコンパネが全く入手できなかった。



母屋を避ける欠き取りを付け、重ねて木工ボンドで接着する

4月13日

エアコンを取り付けて貰う。これで一応、夏でも屋根裏で過ごせるようになった。この辺りの顛末はブログ“ついたりうえぶ”で……



感想

我が家は多くの戸建で同様、屋根裏部屋を想定したものではない。当然、天井は低いし、立つこともできない。しかし、座ってしまえばこの閉鎖空間は相当に居心地が良い。年越し運転もここでいい、息子はそのまま寝てしまったほどだ。直近の目標は自分で屋根に断熱材を入れること。仕事ではないのだ。ゆっくりやる予定。皆様も屋根裏はいかが？（終）